

ごみ量の少なさ 3年連続、全国1位！

～コロナ禍でも、市民・事業者の皆さんによるごみ減量の意識の高さ～

環境省は令和3年(2021年)3月30日に、令和元年度(2019年度)における全国の一般廃棄物の排出及び処理状況等の調査結果を発表しました。その結果、本市はごみ排出量の少ない自治体ランキング「人口50万人以上の都市」で3年連続全国1位となりました。これは本市初の快挙で、合計6回目となります。(これまでの1位は、平成16年度、17年度、27年度、29年度、30年度)。

1 1人1日当たりのごみ排出量が、3年連続全国トップ

令和元年度のごみ・資源物の総量は前年度比で約1,652トンの増加となりました。これは、コロナ禍の巣籠り需要で、全国的に家庭系ごみが増加傾向にある中、本市においては、日頃から市民・事業者の皆さんの分別意識、適正排出の意識の高さにより達成できたものと考えております。

(平成30年度の1人1日当たりのごみ排出量
764.6g/人日)

(1人1日当たりのごみ排出量)

令和元年度実績		
1	八王子市	770.1 g/人日
2	松山市	773.1 g/人日
3	川崎市	804.2 g/人日

※環境省発表資料より

※人口50万人以上の都市

※ごみ排出量には事業系ごみも含む

2 リサイクル率は、2年連続トップ3にランクイン

リサイクル率については、平成30年度に引き続き、2年連続3位になりました。(平成27年度、28年度、30年度も3位)

(リサイクル率)

平成30年度実績		
1	千葉市	30.1%
2	北九州市	26.7%
3	八王子市	25.8%

※環境省発表資料より

※人口50万人以上の都市